

# 企画県土警察常任委員会資料

(平成23年1月21日)

## 【その他報告事項】

- 1 平成23年度鳥取県文化芸術活動支援補助金交付対象事業候補第1次募集の開始について 【文化政策課】 . . . . . 1ページ
- 2 第8回とりアート（鳥取県総合芸術文化祭）の開催結果について 【文化政策課】 . . . . . 2ページ
- 3 ロシア連邦ハバロフスク地方への鳥取県訪問団派遣結果について 【交流推進課】 . . . . . 4ページ
- 4 山陰海岸ジオパークGGN加盟認定記念国際シンポジウムの開催等について 【観光政策課】 . . . . . 6ページ
- 5 「2012年国際マンガサミット鳥取大会」準備委員会（第2回）及びまんがイベントの開催について 【観光政策課】 . . . . . 7ページ
- 6 韓国ドラマ「アテナ：戦争の女神」の放映状況と韓国人観光客の状況について 【国際観光推進課】 . . . . . 8ページ

文化観光局

平成23年度鳥取県文化芸術活動支援補助金交付対象事業候補  
第1次募集の開始について

平成23年1月21日  
文化政策課

鳥取県では、県内の芸術・文化活動の一層の推進を図るため、県内に活動の本拠を置く芸術・文化団体等が自主的・自発的に行う活動に対し支援を行っています。  
このたび、平成23年度交付対象事業の候補を下記のとおり募集します。

記

1 募集事業

事業区分	内容
(1) 優れた芸術・文化活動支援事業	芸術・文化団体等が自ら企画し、実施する優れた作品展示・舞台公演に対する支援（10事業程度）
(2) 刊行物発刊支援事業	県内で行われる日本語による出版活動に対する支援（5事業程度）
(3) 芸術・文化活動ステップアップ支援事業	県内でステップアップを図ろうとする芸術・文化団体等が自ら企画し実施する作品展示・舞台公演に対する支援（8事業程度）
(4) 周年支援事業	定例化した芸術・文化活動の周年事業に対する支援（8事業程度）
(5) 芸術・文化活動によるまちづくり支援事業	芸術・文化活動をツールとしたまちづくり事業に対する支援（5事業程度）
(6) 次世代活動者育成支援事業	芸術・文化活動を行う青少年の育成を図る芸術・文化団体が行う作品展示・舞台公演、又は0歳から小学校入学前の未就学児を対象に行われる創造体験、公舞台公演に対する支援（15事業程度）

2 対象事業

平成23年4月1日（金）から平成24年3月31日（土）までの間に実施される事業

3 募集期間

平成23年1月24日（月）から同年2月25日（金）まで（必着）

4 申込方法

希望者は、事業実施計画書及び収支予算書を作成し、県庁文化政策課に申込み。

5 選定方法

- (1) 1の(1)の事業については、選定委員会があらかじめ設定した審査基準に基づき審査を行い、審査結果をもとに文化観光局長が候補を選定。
- (2) 1の(2)から(6)までの事業については、補助事業要件との適合性を判断し、文化観光局長が候補を選定。

6 その他

- 23年度当初予算成立後に交付対象事業として認定を行う。
- 補助事業要件、補助対象経費等の詳細については、ホームページ（とりネット）に掲載しています。

<参考：平成22年度の状況>

交付団体 21団体  
交付見込額 3,512千円（補助率1/2以内）

# 第8回とリアート（鳥取県総合芸術文化祭）の開催結果について

平成23年1月21日  
文化政策課

## 1 概要

県民による文化芸術の祭典として、特色ある地域文化の振興を図ることを目的に、県内各地で様々な文化芸術事業が実施された。

実行委員会事業として、キラリ☆アートプロジェクト（県民からの企画公募事業）及び参加・体験型事業（フリースペースイベント、ワークショップ）を実施し、地域に根ざした創造的な芸術事業や、気軽に文化芸術にふれることのできる多彩な事業に取り組んだ。

なお、今年度は、来年度上演するメイン事業「八賢伝」の準備年度となっている。

## 2 開催期間

平成22年9月18日（土）（鳥取県美術展覧会開幕日）から11月30日（火）まで

## 3 実施主体

主催：鳥取県総合芸術文化祭実行委員会、鳥取県、鳥取県教育委員会、  
（財）鳥取県文化振興財団、鳥取県文化団体連合会

## 4 実施状況

○参加人数 実行委員会事業 計14,660人（対前年▲9,307人）

主催事業 計30,207人（対前年▲9,511人）

※参加人数減の理由：メイン事業の未開催、キラリ☆アートプロジェクトの事業数・公演数の減

○総事業数 289事業（主催事業136、参加事業153）

事業名	観客数 (延べ人数)	前年観客数 (延べ人数)
メイン事業（今年度は準備年度）	—	1,145 6,663(周辺事業)
キラリ☆アートプロジェクト	992 (2事業、3公演)	2,157 (3事業、10公演)
ワークショップ・フリースペースイベント参加体験型事業 (東・中・西部の各地区で実施)	13,668 (119事業)	14,002 (107事業)
実行委員会事業 計	14,660	23,967
第54回鳥取県美術展覧会	9,417	9,449
鳥取県文化団体連合会主催事業（14事業）	6,130	5,389
県文化振興財団事業	—	913
主催事業 計	30,207	39,718

※鳥取県文化団体連合会主催事業「県民による第九鳥取公演」（12月26日開催）も含む

### 【今回の成果】

- 中・西部支局を県から文化振興財団へ移管したことに伴い、各地区運営委員会が活性化し、委員による広報活動等により、事業数や観客数の増加につながっている。
- キラリ☆アートプロジェクトは、県民から企画を公募し、2事業を実施。プロと地元のアマチュアによるコラボレーションを実現したダンスや前回の公演より歌や演技のレベルアップしたミュージカルにより質の高い事業を実施することができた。
- 各地区イベントは、ワークショップ・フリースペースイベントに加え、各地区独自のテーマ設定に従い、伝統芸能やコンテンポラリーダンス等の多彩な催しを地区委員会が企画・実施した。

### 【今後の対応】

- 評価委員による各事業の現地検証や観客アンケート、専門家評価などの資料を基に、評価委員会による事業評価を行い、報告書を作成。

<参考>

実施内容

(1) 主催事業

ア キラリ☆アートプロジェクト

事業名	期日・場所	内容
ミュージカル 「もうひとつの青い鳥」	11月28日(日) ハワイアロハホール	湯梨浜町を舞台に子どもから大人まで楽しめる歌ありダンスありのミュージカル。
ダンス公演 「ダンス・イノベーション いろめいろ 私が変わる!ダンスで変わる!鳥取が変わる!」	11月28日(日) とりぎん文化会館	「コンテンポラリーダンス」や「ストリートダンス」を中心にした親子でも楽しめるダンス公演。

イ ワークショップ・フリースペースイベント参加体験型事業

気軽に文化芸術を体験する各種ワークショップやフリースペースを利用したステージ発表、展示等各地区独自のイベントを企画・実施

地区	期日・場所	内容
東部地区 イベント	11月26日(金)~28日(日) とりぎん文化会館	「因幡にぎや街道 2010」~文化の旅に出かけよう~をテーマにコンサート「音楽の喫茶店」、「食コーナー」などを実施。 (35事業)
中部地区 イベント	11月13日(土)・14日(日) 倉吉未来中心	「ええじゃないか!中部~未来を奏でる文化のまち~」をテーマに少年少女合唱団コンサートやドラマリーディング「伯州里見八賢士伝」などを実施。(29事業)
西部地区 イベント	10月23日(土)~25日(月) 米子市文化ホール	『いつもの「まち」で「文化」する!』をテーマに「よなご映像フェスティバル」などを実施。 (55事業)

ウ 実行委員会事業以外の主催事業

事業名	期日・場所	内容
第54回鳥取県美術展覧会	9月18日(土)~ 11月24日(水) 県立博物館ほか	県民からの応募による洋画・日本画・版画・彫刻・工芸・書道・写真・デザインの入選作品を展示。
鳥取県文化団体連合会 主催事業		「鳥取県民謡まつり」、「鳥取県和太鼓連盟コンサート」、「民謡フォークダンスジャンボリー」、「県民による第九鳥取公演」、「鳥取県川柳大会」ほか(全14事業)

(2) 参加事業

とりアートの基本方針に賛同した事業を県内各地で実施

「鳥取市民文化祭」、「米子市秋の文化祭」、「ジュニア県展」、「鳥の演劇祭」、「いわみ音楽祭」、「倉吉天女音楽祭」、「ブックインとっとり」、「放哉を書く」ほか(全153事業)
--

## ロシア連邦ハバロフスク地方への鳥取県訪問団派遣結果について

平成23年1月21日

交流推進課  
農政課

ハバロフスク地方に訪問団（団長：河原正彦統轄監）を派遣し、友好交流の第1弾イベントとして、鳥取県農産物展示会やハバロフスク地方行政等との意見交換等を下記のとおり実施しました。

### 記

#### 1 鳥取県農産物展示会の開催

(1) 日時 12月15日（水）午後1時～5時

12月16日（木）午前10時～午後5時

(2) 場所 ホテル「インツーリスト」（ロシア・ハバロフスク市内）バンケットルーム

(3) 主催 鳥取県

(4) 実施内容

##### ①農産物・農産加工品の試食・展示

- ・富有柿、あたご梨（環日本海定期貨客船を利用して運送）
- ・あんぼ柿、らっきょう漬、西瓜とまり漬、乳製品（サブレ、せんべい、あめ）

##### ②鳥取県農産物及び観光PRパネル・ポスター展示、観光パンフレット配布、DBS定期航路PR

(5) 実施結果

○来場者数 一般消費者約200人、現地企業等4社

○来場者の主な感想

- ・試食・展示品すべて、美味しいと好評。
- ・特に富有柿とあんぼ柿は甘くて美味しいと好評。早くハバロフスクで売って欲しいという声も多く聞かれた。
- ・らっきょう漬は、ロシアの漬け物（ピクルス）に似ており、馴染みのある味で、とても美味しいと好評。
- ・西瓜とまり漬は、初めて食べた味だが、美味しい。お酒のつまみにも合いそう。
- ・乳製品は子どもに好評。
- ・鳥取県産農産物の食の安全性に対する問い合わせもあった。

(6) 訪問団の所感等

①12月14日（火）にハバロフスク地方の地元報道機関（太平洋の星新聞社、極東国立テレビ・ラジオ放送局）を訪問し、同展示会事前告知及び観光PRを実施したため、多くの来場者を迎えることができた。

②買えないことを残念がる市民が多数おられ、国内商社が来年計画しているハバロフスクでの試験販売に期待がもてると確信できる試食・宣伝会となった。

## 2 カラシニコフ・ハバロフスク地方政府副長官兼経済担当大臣との協議

(1) 日 時：12月17日（金）午前9時30分～10時20分

(2) 場 所：ハバロフスク地方政府

(3) 協議内容

平成22年11月中旬のシュポルト知事の来県及びその際署名された鳥取県とハバロフスク地方との友好交流に関する共同声明を踏まえ、鳥取県側より、当面の交流テーマ案として、(ア)医療交流、(イ)県農産物の試験販売、(ウ)ハバロフスク地方における「鳥取県の写真展&民芸品展」の実施、(エ)とっとり伝統芸能まつりへの招待、(オ)ハバロフスク地方からのマスコミ関係者招聘、(カ)スポーツ・文化・青少年の相互交流、(キ)行政間の情報交換・交流協議、両地域のホームページへの相互リンクを提案した。

これに対して、カラシニコフ大臣より、全て大変重要な交流案件であり、実現に向けて努力したいと述べるなど、今後の両地域の交流について精力的に協議していくこととなった。

## 3 ガマニユク・ハバロフスク地方政府副長官兼農業・食品大臣との協議

(1) 日 時：12月17日（金）午前10時30分～11時10分

(2) 場 所：ハバロフスク地方政府

(3) 協議内容

ガマニユク大臣より、ハバロフスク市内での鳥取県農産物等見本市の開催、ハウス栽培、食肉牛の生産等、農業交流に関する提案があった。特に、イチゴのハウス栽培に高い関心があるので、鳥取県に農業専門家を派遣したい旨の発言があり、具体的な視察時期については両地域で今後調整していくことになった。

## 4 その他

ハバロフスク滞在中に、輸出に必要な商品認証の権限をもつ極東商工会議所を訪問し、県農産物の円滑なロシア向け輸出を始めとする両地域間の経済活動の活性化について協力要請を行うとともに、地元旅行会社を訪問し、鳥取県の観光PR、DBSクルーズフェリーの紹介等を行った。また、在ハバロフスク日本国総領事館、ハバロフスク日本センターを訪問し、両地域の交流の現状と方向性に関する説明、意見交換を行った。

### 【参考】鳥取県訪問団の構成

河原正彦統轄監、前田修商工労働部経済通商総室長、岡本康宏農林水産部次長他 4名



鳥取県農産物展示会



ハバロフスク地方行政政府経済担当大臣（中央写真）、農業・食品大臣（右写真）との協議



# 山陰海岸ジオパークGGN加盟認定記念国際シンポジウムの開催等について

平成23年1月21日  
観光政策課

山陰海岸ジオパークが世界ジオパークネットワークに加盟したことを記念し、下記のとおり国際シンポジウムが開催されます。

なお、シンポジウム終了後、ギリシヤ・レスヴォス島ジオパークと山陰海岸ジオパークとの姉妹提携協定調印式が予定されています。

## 記

### 1 開催日時

平成23年2月12日(土) 14:30～16:40

### 2 開催場所

兵庫県公館大会議室(兵庫県神戸市中央区下山手通4丁目4番1号)

### 3 開催内容

(1) 開会挨拶 井戸敏三(兵庫県知事)

(2) 山陰海岸ジオパークプロモーションDVD上映

(3) 基調講演(14:45～15:30)

講師:ニコラス・ゾウロス委員(世界ジオパークネットワーク委員)

テーマ:「世界ジオパークネットワーク:ジオパーク活動と地域経済の活性化事例」

(4) パネルディスカッション(15:40～16:40)

テーマ:「山陰海岸ジオパークの地域資源とその活用」

パネリスト:ニコラス・ゾウロス氏(世界ジオパークネットワーク委員)

平井伸治鳥取県知事(山陰海岸ジオパーク推進協議会顧問)

中貝宗治豊岡市長(協議会会長)

三田村宗樹日本地質学会近畿支部幹事(協議会学術部会長)

永田 萌氏(絵本作家)

コーディネーター:中田節也東京大学地震研究所教授(日本ジオパーク委員会委員)

### 4 主催

兵庫県・山陰海岸ジオパーク推進協議会

### 5 その他

国際シンポジウム終了後、関係府縣市町の首長同席で、山陰海岸ジオパークとレスヴォス島ジオパーク(責任者:ニコラス・ゾウロス委員)との姉妹提携協定調印式を同会場で開催予定。

## 「2012年国際マンガサミット鳥取大会」準備委員会(第2回)及びまんがイベントの開催

平成23年1月21日

観光政策課

国際マンガサミット鳥取大会の開催準備を進めるとともに、地域の機運醸成を図るため、次のとおり「2012年国際マンガサミット鳥取大会」準備委員会及びまんがイベントを開催します。

### 1. 「2012年国際マンガサミット鳥取大会」準備委員会

- (1) 日時 平成23年2月4日(金)午後2時30分～3時15分
- (2) 場所 とりぎん文化会館 第2会議室
- (3) 協議内容
  - ①メイン会場及び開催時期、大会テーマ等について
  - ②平成23年度の取組について
  - ③今後のスケジュール等について

### 2. まんがイベント(案)

- (1) 日時 平成23年2月4日(金)午後3時30分～5時
- (2) 場所 とりぎん文化会館小ホール
- (3) プログラム
  - ①記念講演  
演題：「まんがの楽しみ方(仮題)」  
講師：里中満智子氏(漫画家)

#### ②新春放談

主題：「漫画家の世界とまんが王国とっとりの未来を語る」

出演者：里中満智子氏(漫画家)

日野日出志氏(漫画家)

倉田よしみ氏(漫画家)

平井知事

司会進行：立野康一氏(アジアMANGAサミット運営本部広報部長)

その他：想定される話題

ア 漫画の魅力

イ まんが産業を取り巻く状況

ウ まんが王国とっとりへの期待

#### <参考>出席漫画家の代表作

里中満智子氏：天上の虹、アリエスの乙女たち

日野日出志氏：ホラーM、地獄小僧

倉田よしみ氏：味いちもんめ



# 韓国ドラマ「アテナ：戦争の女神」の放映と韓国人観光客の状況について

平成23年1月21日  
国際観光推進課

## 1 放映状況

### (1) 放映開始・放送局

- ・平成22年12月13日(月)午後9時55分から70分間放送  
(毎週月・火曜日の2回放送、全20回)
- ・韓国SBS放送局(民間放送局)

### (2) 鳥取県の露出状況

1月上旬に放映された第7話(1月3日放送)から第10話(1月11日放送)にかけて、鳥取県の場面が放映された。複数の県内観光地等でのデートシーンに加え、倉吉市や琴浦町、岩美町等で撮影されたアクションシーンなどが放映された。

また、鳥取県のシーンの冒頭には、字幕で「日本・鳥取」などと表示された。

#### <主な登場場所>

- 東部 鳥取砂丘(白兔伝説が紹介された)、浦富海岸、白兔海岸、鳥取駅前ほか
- 中部 はわい温泉、東郷湖羽合臨海公園、倉吉市内(打吹まつりの様子、酒蔵)、県衛生環境研究所、三朝温泉(陣所の様子)ほか
- 西部 水木しげるロード、米子鬼太郎空港、DBSクルーズフェリー、とっとり花回廊

### (3) その他広報効果

- 韓国の有名歌手が歌う番組挿入歌のミュージックビデオにも鳥取県のシーンが登場しており、韓国の音楽番組やYOU TUBEなどで放送されている。
- 韓国内の映画・ドラマ雑誌、芸能番組、芸能関係ツイッター、ネット上のアテナ情報サイトなどで、鳥取県でのロケシーンが紹介されている。
- 日本の旅行雑誌や韓流ドラマ雑誌などでも鳥取県がアテナのロケ地であることが紹介され始めている。

## 2 韓国人観光客の状況

### (1) 米子ソウル便

11月から12月末にかけて、アテナロケ地ツアーや高級温泉ツアーなどで1,000人以上の観光客が来訪(対前年25%増)。1月以降も1,200人以上の予約が入っている。

特に12月は韓国人搭乗者数の比率が50%を超えるなど(通常30%程度)好調に推移。

1月下旬には、韓国最大手旅行会社「ハナツアー」が新たなロケ地ツアーをホームショッピングで販売開始したり、複数の旅行会社が新たな旅行商品を造成する予定であるなど、更なる予約の上乗せに期待。

### (2) 環日本海定期貨客船

11月から12月末にかけて、2,800人以上の観光客が来訪(対前年35%増)。

DBSクルーズフェリー社によれば、3月末まで団体ツアー客に加えて個人旅行者の来訪も増えており、かなり好調とのこと。

## 3 県の取組(主なもの)

### (1) 受入れ態勢整備

- 米子鬼太郎空港、境港国際ターミナルへのアテナロケ地歓迎看板、ロケ地マップ、ロケ地パネル等の掲出(12月以降順次整備)
- ロケ地へのロケシーンパネルの設置(1月上旬から順次設置)
- ロケ地を紹介した観光ガイド(ロケ地ガイド)の配布(1月上旬から配布)
- 米子鬼太郎空港、境港国際ターミナルと県中部・東部地域を結ぶ外国人向けリムジンバスの運行(1月末運行開始予定)
- 各圏域におけるロケ地周遊ツアーの造成(地元が主体となって1月末実施開始予定)

### (2) 広報宣伝

- 地下鉄へ「ロケ地『鳥取県』」PR広告掲載(12月~1月:1,500枚×1か月)
- 環日本海貨客船内で乗客向けに観光情報やロケ地情報などを提供(12月~3月)
- 韓国新幹線(KTX)車内誌、大手インターネット検索サイト(NAVER)での県紹介記事の掲載(1月:広報課)
- 全世界のアシアナ航空機内誌へ「ロケ地『鳥取県』」紹介記事等の掲載(1月~3月)